

50 周年記念事業

江 澤 郁 子

1. 50 周年記念事業計画立案の経緯

本学会の記念すべき半世紀の節目にあたる「50 周年記念事業」の議題が理事会に初めて登場したのは平成 7 年 5 月 13 日であった。

その後、6 月 10 日の理事会において 50 周年を盛大に祝うことが決められ、記念式典会場は日本女子大学に決定した。

(1) 50 周年記念事業準備委員会

平成 7 年 6 月、50 周年記念事業準備委員会が下記のように組織され、記念事業の内容について検討することとなった。

委員長：野口 駿副会長、副委員長：酒井豊子、委員：江澤郁子、小川信子、小林茂雄、三東純子、田村照子の各理事、沖田富美子、久保田紀久枝、島崎恒蔵、馬場紀子

準備委員会は、記念事業として考えられる事項を報告書にまとめ、平成 8 年 3 月 31 日に岩崎芳枝会長に提出し、5 月 11 日の理事会に報告した。

(2) 創立 50 周年記念事業委員会

役員交替に伴い、下記の委員構成による「創立 50 周年記念事業委員会」の設立が 11 月 9 日の理事会において承認され、本格的に準備に着手することとなった。

委員長：江澤郁子副会長、委員：阿部幸子副会長、丹羽雅子副会長、伊藤セツ、小林茂雄、成瀬信子、片山倫子、島崎恒蔵、畑江敬子、渋谷祥子、島田淳子、下村道子の各理事、酒井豊子、田村照子、グエン・ヴァン・チュエン、沖田富美子

記念事業は、準備委員会の提案に基づき、以下のよう立案された。

- ① 記念式典および記念講演会の開催
- ② 国際家政学会会長招待講演会ならびにシンポジウムの開催
- ③ 家政学若手研究者を対象とする記念論文の募集、表彰
- ④ 各支部における関係自治体との提携による市民フォーラムの開催
- ⑤ 記念出版
- ⑥ 家政学データベースの CD-ROM 化
- ⑦ 学会誌 50 周年記念特集号の刊行

⑧ 第 10 回アジア地区家政学会大会開催(平成 11 年)

⑨ 記念事業費としての募金活動

2. 記念事業の内容

(1) (社) 日本家政学会創立 50 周年記念式典および記念講演会・祝賀公演

平成 10 年 5 月 29 日(金) 午後

於日本女子大学西生田成瀬講堂

式典次第

司会 阿部幸子副会長

1) 開会の辞

丹羽雅子副会長

2) 式辞

大野静枝会長

3) 来賓祝辞

① 文部大臣

町村信孝氏

② 日本女子大学学長

宮本美沙子氏

③ 日本学術会議第 6 部長

長堀金造氏

④ 日本農学会会長

光岡知足氏

⑤ 日本家庭科教育学会会長

内藤道子氏

⑥ アジア地区家政学会会長

Soojae Moon 氏

4) 感謝状贈呈

5) 記念論文入選者発表並びに記念論文賞授与

6) 閉会の辞

江澤郁子副会長

講演会

1) 「持続可能な発展への道—日本の消費と世界の環境—」

早稲田大学教授 西川 潤氏

2) 「21 世紀家政学への要望—福祉の視点より—」

日本女子大学名誉教授 一番ヶ瀬康子氏

祝賀公演

狂言 「末廣かり」

果報者 和泉淳子(史上初女性狂言師)

太郎冠者 和泉祥子(十世三宅藤九郎)

すっぱ 和泉元弥(和泉流二十世宗家)

(2) 記念出版

(社) 日本家政学会編

記念出版の書名と出版の趣旨は下記のごとくである。

『日本人の生活—21 世紀に向けての課題と展望—』

本年、(社) 日本家政学会は、創立 50 周年を迎えたが、この間、日本人の生活は世界に類をみないスピードで急激に変化してきた。戦後の技術革新、高度経済成長、核家族化、少子化、高齢社会、情報社会の波は、私た

ちの生活をさらに大きく変貌させようとしている。間もなく21世紀を迎えようとする今、過去半世紀にわたる日本人の生活の変化をしっかりと見直し、新しい世紀に向けて、改めて世界を視野に入れた日本人の生活の方向を探り見定めることは、意義あることである。そこで、人間の生活の向上と人類の福祉に貢献する実践的総合科学—家政学—を目指してきた(社)日本家政学会は、創立50周年記念事業の一環として、『日本人の生活—21世紀に向けての課題と展望—』の出版を企画した。

本書の構成としては、①論集「日本人の生活—21世紀に向けての課題と展望—」、②年表「日本人の生活50年史」、③データ集「データに見る日本人の生活50年の歩み」、④用語解説である。本書を通して、戦後50年にわたる日本人の生活は、どのような要因によっていかに変化したか、50年の日本人の生活に家政学の研究がどのように関わり貢献したか、21世紀の日本人の生活をめぐる課題と展望、これに対する家政学の課題と展望は？などが浮き彫りにできればと期待している。

創立50周年記念出版委員

委員長：大野静枝、委員：阿部幸子、江澤郁子、酒井豊子、島田淳子、田村照子、丹羽雅子、野口 駿
『日本人の生活』編集委員

委員長：田村照子、委員：伊藤セツ、片山倫子、黒田淑子、島崎恒蔵、渋谷祥子、中島明子、中間美砂子、成瀬信子、畑江敬子、松村祥子

発行所 (株)建帛社

3. 学会誌記念特集号 (日本家政学会誌第49巻第5号)

内容は、この10年間における学会の活動状況報告、および家政学研究の推移動向をまとめることによって、

60周年に向けて、家政学の方向性と家政学を支える学会のあり方を展望したものである。巻頭には、家政学に関連する国内・国外の学会長からのメッセージを掲載。

4. 記念論文募集と表彰

下記の(1)～(4)の条件により記念論文を募集したところ、7件の応募があった。慎重に審査したところ、最優秀賞は該当者がなく、2件を優秀賞1件を佳作に選定し、記念式典で表彰。優秀賞2作を学会誌に掲載することとなった。

(1) 論文のテーマ

21世紀に向けた家政学の発展に資する建設的な内容のもの。

(2) 募集期間

平成9年9月1日(月)～平成9年12月31日(水)。

(3) 応募資格

40歳未満の家政学会会員および学生(大学院生を含む)。国籍は問わない。

(4) 選考審査と賞

選考：会長、副会長、企画担当理事、学会誌編集委員長を含む選考委員会を組織し、選考する。

賞：最優秀賞(1件)、優秀賞(3件以内)。50周年記念式典において賞状と副賞を授与し、最優秀賞については、学会誌の記念特集号(平成10年、第49巻第5号)に掲載。

5. 市民フォーラム

会期中に限らず各支部で適宜50周年記念事業として開催する。

6. 募 金

記念事業を達成するために、学会の経済的基盤強化のため会員、賛助会員、企業、大学に募金活動を展開した。その結果多くの協力が得られた。